

システム科学技術分野と情報科学技術分野について

本 2015 年版俯瞰報告書は、2013 年版の発行後、主に 2014 年度にユニットの活動の中心として検討、作成してきたものである。

現在、情報通信技術の発達もあり、社会の構造が大きく変化しつつある。また、国費で行なわれている科学技術研究の成果を効率的に社会に還元することが強く求められている。このような状況の下、科学技術を社会に適用する領域の重要性を鑑み、システム科学技術分野と情報科学技術分野を融合して検討する活動を、新たに設置した「システム・情報科学技術ユニット」において平成 27 年 4 月から開始している。

システム科学技術も情報科学技術も、今後社会の基盤技術となることが期待され、それを社会に適用する過程で両者は切り離して考えられるものではない。実社会に、真に科学技術を適用するには、リアル世界とサイバー世界の間隔を明らかにし、それらを統合するための新たな科学技術が必要である。そのために、情報科学技術とシステム科学技術を高いレベルで融合し、各要素および要素技術の統合化、システム化を通じて新たな科学技術を社会に適用する道筋をつけたいと考える。このような戦略的思想に基づき、従来の活動を新しいユニットに再編・強化するものである。

当該 2015 年版俯瞰報告書は、旧システム科学ユニットと旧情報科学技術ユニットで別々に上梓する。なお、新しいシステム・情報科学技術分野の統合俯瞰としては、次の図のように考えており、この俯瞰に沿った報告書は 2017 年版として作成する予定である。

システム・情報科学技術分野の俯瞰図

